

令和6年度中之島図書館特別展

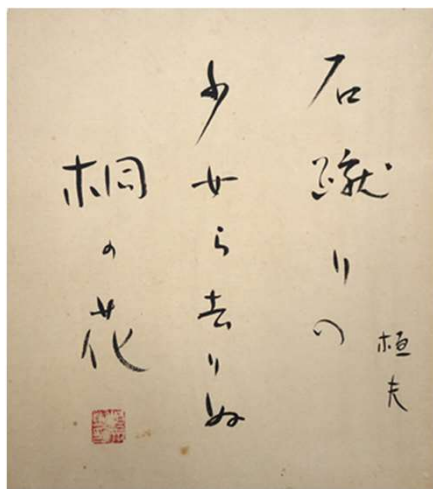
大阪文学の巨星

Fujisawa Takeo
Memorial Exhibition

藤澤桓夫 生誕120年

大阪と将棋を愛した作家が遺したもの

開催期間 2024年10/22(火)~11/16(土)



会場

入場無料

大阪府立中之島図書館 3階展示室

月曜日~金曜日 9:00-20:00

土曜日 9:00-17:00

休館日: 日曜日、祝日(11/4(月))

10/27(日)は展示室のみ開館: 10:00-16:00

上段右: 『辻馬車 第1号』(岩波書店 1925年3月)【藤沢文庫-6048】

下段左: 色紙『石蹴りの…』【藤沢文庫-9173】

下段右: 将棋駒 1組(「愛用」将棋用具類より)【藤沢文庫-9144】



【共催】大阪府立中之島図書館／指定管理者ShoPro・長谷工・TRC共同事業体
【協力】高槻市 街にぎわい部 将棋のまち推進課

大阪府立中之島図書館

〒530-0005

大阪市北区中之島1-2-10

TEL: 06-6203-0474(代表)

大阪府立図書館X(旧Twitter)



@osaka_pref_lib

<https://www.library.pref.osaka.jp/nakanoshima/>



中之島図書館と同じく明治37(1904)年の大阪に生まれ、生涯にわたり多くの文学作品を生み出し続けた作家、藤澤桓夫(ふじさわ たけお)。生誕120年の節目に、当館所蔵の「藤沢文庫」(*)を中心に、彼の代表作をはじめ、将棋好きとしての顔がうかがえる資料をご紹介します。また関連して、将棋のまち高槻市PRコーナーも設置します。

おもな展示資料

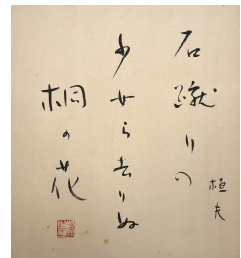


『辻馬車 第1号』(波屋書店 1925年3月)
【藤沢文庫-6038】

1925年3月創刊。表紙絵は藤澤桓夫の叔父、石濱純太郎の友人である小出櫓重(こいで ならしげ)が担当した。同年5月に刊行された第3号では、藤澤桓夫の代表作「首」が掲載され、川端康成や横光利一らから高く評価された。

色紙『石蹴りの少女ら去りぬ桐の花』【藤沢文庫-9173】

藤澤桓夫の提案で始まったリレー形式の歌仙に、藤澤桓夫が寄せた句。この句は、大阪市天王寺区の齡延寺にある藤澤桓夫の墓碑にも刻まれている。



将棋駒 1組(〔愛用〕将棋用具類より)
【藤沢文庫-9144】

藤澤桓夫が使用していた将棋駒。
駒箱の蓋には、「香月作 水無瀬駒」の文字が書かれている。



(※)「藤沢文庫」は、藤澤桓夫の旧蔵書を夫人の典子氏から寄贈を受けたコレクションで、書籍、書簡、草稿、書画など、約3,500点を収蔵しています。
当館では文庫名表記に「沢」の字を用いています。また、書誌事項表記は当館目録に拠ります。